

小1プロブレム対策 学級補助員配置事業

自治体情報

人口 57,902人

標準財政規模 10,522,228千円

担当課 福岡県 古賀市 教育部学校教育課

電話番号 092-942-1130

ホームページ <http://www.city.koga.fukuoka.jp/>

事業期間 平成21年度から

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取り組みに至る背景

小学校1年生が幼児教育から義務教育へと移行した際に、「教師の話聞けずに、教室を歩き回る」「友だちと騒いで授業が成立しない」「わがままのし放題で集団での活動ができない」など、授業不成立をはじめとする学級の「学び」と「暮らし」「遊び」をつなぐ、機能の不全の状態を示している。

2 事業内容（目的・目標・方策）

【目的】

市内小学校に各1名の小1プロブレム対策学級補助員を配置し、学習指導や生活指導に困難が生じる小学校1年生の担任を補助することで、小学校1年生児童の学力の向上と学級の健全化を図る。

【目標】

- ・古賀市で実施している学力テスト（国語、算数）において、80%以上正答できる1年生児童の割合を8割以上にする。
- ・古賀市内の小学校1年生の全学級において、授業不成立の学級を0にする。

【方策】

<業務内容>

- (1) 就学前から小学校への連続性を重視した補助を行う。
- (2) 学習指導、生活指導、行事等において担任の補助を行う。
- (3) すべての児童の学力の向上と学級の健全化に向けた補助を行う。
- (4) 対応する児童、学級については校長の指示に従い補助を行う。

<採用資格>

教員免許を取得し、校長が面接し、選考した者

<勤務形態>

1日4時間、週5日、4月から3月24日までの間の200日勤務

<任用者数>

全8学校8名

3 施策の開始前に想定した事業効果

- (1) 学校生活への慣れと基本的な生活習慣の定着
- (2) 集団の中での忍耐力・自制心などの定着
- (3) 児童の悩み、生活環境の変化への対応等の早期発見と適切な対応
- (4) 教師のゆとりの創出と授業への集中

4 導入にあたり工夫・苦勞した点、課題、対処法など

(1) 質の高い人材の確保

小学校教員免許を持ち、年間 200 日程度の授業日に勤務でき、かつ学習支援、生徒指導支援ができる人材の確保に苦勞したが、市内在住者を中心に正規教職員経験者を洗い出し、6 人の教職経験者と 2 人の講師経験者を確保できた。

(2) 学校への説明及び指導

前年度から校長会、教頭会において、学級補助員配置の趣旨及び業務内容を説明し、学級補助員の配置の趣旨を全職員に周知徹底させた。また、入学式の学級担任紹介の時に併せて学級補助員を保護者に紹介させた。

(3) 学級補助員の指導力向上に資する研修会の実施

最近の小学校 1 年生の状況を把握した上で、指導力量（学習指導・生徒指導）を高めることと 8 校のそれぞれの業務内容の課題等の情報交換を兼ねた市教育委員会主催の研修会を 2 回計画している。

(4) 経費の捻出

市として厳しい財政状況の中、新たに当該事業を立ち上げるにあたり、必要最少限の経費になるよう学級補助員の雇用形態を定めた。また、既存の事業の経費の見直しを行う等経費の捻出に苦勞した。

5 現在の成果・実績、今後の展開など

- (1) 保健行事や給食指導などの教員の労力が軽減されている。
- (2) 学校生活への慣れと基本的な生活習慣の定着が例年より早い。
- (3) 授業への集中が増し、学力の定着が見込まれる。
- (4) 幼稚園、保育園と小学校の授業交流等を実施していく必要がある。

予算関連データ 古賀市

総額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
5,504 千円		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	5,504 千円
①～④の名称・所管等	名称					
	所管					
	金額					
	補助率					